

ニュースリリース

2015年3月3日
鳴海製陶株式会社

「いいものを、いつの日も、いつまでも。」 ナルミボーンチャイナは50周年を迎えました。

ボーンチャイナをはじめとする上質な洋食器を中心に、食卓周りのライフスタイルを提案する鳴海製陶株式会社（本社：愛知県名古屋市、代表取締役社長：藤江憲）は、2015年、コア商材であるナルミボーンチャイナの製造50周年を迎えました。

鳴海製陶は1965年、陶磁器業界では「ボーンチャイナに手を出したら身の上を潰す」と言われていた程、作ることが容易ではないボーンチャイナの量産化に日本で初めて成功し、ディナーセットを米国へ向け初出荷をしました。以来半世紀、ボーンチャイナのパイオニアとして、『“いいものとの出逢い”が作り出す上質で幸せな時間』をお客様にお届けしています。

真摯にものづくりをして食器をお届けしたいという半世紀前からの願いを、いま、あらためて強く深く抱き、過去の製品の中でも特徴的で思い出深いデザインをリファインして50周年を記念する企画品として発売をします。

3月からは全国主要百貨店で、「いいものを、いつの日も、いつまでも。」をテーマに記念企画商品に加え、ナルミボーンチャイナの製造工程DVDの放映や石膏型、転写紙など普段ご覧いただく機会のないアイテムも展開しながらの催事開催を予定してします。



左： 1970年代に米国向けに作られたオリエンタルシリーズ。
1年間の期間限定で復刻。

左上：1968年に発表された「てまり」。
現代の生活にあうようにリファインして機能的に。
2014年度グッドデザイン賞受賞。

右上：ナルミボーンチャイナ50周年オリジナルロゴ。

《お問合せ先》 ※本リリースに関するお問合せ先：

鳴海製陶株式会社 マーケティング部 担当：高橋（たかはし）

TEL：03-5776-6305 FAX：03-5776-6310 E-mail：y-takahashi@narumi.co.jp

No 1/2



左： 50周年記念企画品「ミルブロック」
 1960年代に初めて花柄として輸出した
 シリーズ

中央： 1972年の発売以来、NARUMIを代表する
 シリーズとなった「ミラノ」

右： 1977年に発売されロングライフデザイン
 賞も受賞している「シルキーホワイト」



【ボーンチャイナについて】

高純度の骨灰（ボーンアッシュ）を含んだ高級磁器のこと。18世紀ごろイギリスで作られるようになり、透光性に優れた乳白色の磁器は、長い間製法を秘密にされ、当時の王室や貴族の間で珍重されていました。

「NARUMI ボーンチャイナ」は、骨灰を精選された良質な磁器原料（長石、粘土、カオリンなど）に多量に含まれているのが特徴です。高品質な素材を作り出す原料とも言える骨灰ですが、これを加えることによって土に粘りが少なくなり、成形が一般の磁器より難しくなるため、成形されるまでに永年の経験によって計算しつくされた工程が不可欠となります。薄く繊細でありながら丈夫な「NARUMIボーンチャイナ」は、結晶構造が緻密なことが強さの秘密。素材の強さとボーンアッシュの含有率は世界でもトップクラスです。その滑らかな艶とあたたかみのある白が人の心を惹きつけてやみません。



【NARUMI 鳴海製陶株式会社について】

いいものとの出逢い。

NARUMI は、ボーンチャイナをコアとして培った伝統を大切に育み、長く受け継がれたものの素晴らしさを伝え、また技術とデザイン力を活用して、お客様のニーズに応えた高品質な商品・サービスを提供しています。生活に喜びをもたらす、生活をより豊かなものにすることに貢献するため、常に新たな領域へチャレンジし続けます。食文化の一端を担う企業として、製品の完全無鉛化を行い、安心・安全への取り組みにも力を入れました。

これからも NARUMI は、環境保全など地球環境を総合的に考慮し、循環型社会へ対応できる企業活動を行ってまいります。

【会社概要】

鳴海製陶株式会社
 (Narumi Corporation)

本社 愛知県名古屋市緑区鳴海町
 宇伝治山3番地
 電話 052-896-2200 (総合案内)
 創業 1946年2月1日
 代表者 代表取締役社長 藤江憲
 資本金 5億4千万円
 従業員数 340名
 URL <http://www.narumi.co.jp>